

## HEIDI (ハイジ)

## ■DATA■



## ハイジ苦楽園店

〒662-0084 西宮市樋之池町10-5

TEL: 0798-74-8140

営業時間: AM9:30~PM7:30

定休日: 水曜日

ハイジの庭をイメージした  
エントランス

## お菓子を毎日の楽しみに! ~ハイジの夢を届けたい~

兵庫県西宮市苦楽園。オシャレな家が立ち並ぶ住宅街の一角に2009年11月、可愛いお菓子の館がオープンしました。店名は「HEIDI」(ハイジ)。赤いレンガに白い壁、オシャレで暖かいイメージの外観に思わず中を覗きたくなります。オリジナルリースが飾られた木のドアを開け、中に足を踏み入ると、そこには素朴で愛らしいハイジの物語が広がっています。ホワイトデーが近いこの日は、ギフトパッケージをイメージしたランプシェードや、ブルーのハートのバルーンがディスプレイされ、そこにいるだけで楽しくなります。イベントごとに変わるディスプレイは訪れる人をワクワクさせます。

## ハイジが提案するハイジのお店

店名に「HEIDI」(ハイジ)とありますが、この店はおっちょこちよいでお菓子好きな女の子「ハイジ」の物語で展開されています。店の奥にはディスプレイを設置、常時、ビデオでハイジの物語をご紹介します。ではここでハイジの物語をご紹介します。



このハイジは7歳の女の子を想定してつくりましたと、マネージャーの渡辺紗貴子さん。アットホームで暖かいハイジファミリーのイメージが、店づくり、ディスプレイのいたるところに溢れています。商品のパッケージには元気いっぴいのハイジが描かれ、ディスプレイ一つひとつにハイジのストーリーが息づいています。

とんがり屋根が並んだ町並みのイメージは北欧のとある小さな町を想定、店内にはハイジからのお便りもディスプレイされ、まさにハイジワールドが広がっています。

今、7歳のハイジですが、今後どんどん成長していき、物語も変化させていくといひます。このハイジがどんなふう成長していくのか、楽しみにしていて欲しいと渡辺マネージャー。

パッケージ、POP、ショッピングバッグ、マグカップ、入り口のフロアマットまでハイジの世界で統一されています。ここにはハイジとともに楽しくて美味しい夢を届けたいというコンセプトが息づいているのです。



ハイジの夢を届ける渡辺マネージャー



ビデオで常時ハイジの物語が見られる




入り口のマットもハイジの世界


人気のハイジのマグカップ

## ハイジの7つのお約束

ここHEIDIは有名シェフのブランド店でも、人気キャラクターの店でもありません。ハイジという女の子の物語で展開、地域に根ざし、子供からお年寄りまで三世代に愛される洋菓子店を目指している。そして地域のお客様に、愛される店づくりのために7つのお約束を掲げています。



ハイジの7つのお約束  
HEIDI's seven promises



- 1 地域に愛されるお店作りを目指します。
- 2 お客様の生活の一部になるお店作りを目指します。
- 3 丁寧に愛情を込めて商品を作ります。
- 4 「安心」「安全」「コンプライアンス」に徹底したアトリエで作ります。
- 5 「もうひとつ!」「毎日食べたい!」「シンプル!」な味を目指します。
- 6 お客様、店舗スタッフ、商品が共に成長できるブランドを目指します。
- 7 3世代が幸せを共有できるお菓子ブランドを目指します。

## あのアルハンブラが進化して登場

このHEIDIで一番の売れ筋は、「アルハンブラ」です。

**あの「アルハンブラ」がここで買えるなんてうれしい!**

**「アルハンブラ」をまた食べることができて幸せ!**

そんなお客様の声に支えられて、この『アルハンブラ』がHEIDI一番のヒット商品となっています。かつて神戸で一世を風靡したあのアルハンブラが、進化して蘇ったのですから、お客様の目を惹くのも無理はありません。

種類は「プレーン」「コーヒーマ」「抹茶」の3種類。いずれも数種類のチョコレートに贅沢に使い、ふんわりさっくりとしたスポンジで挟んだとろける味わい。軽い食感のスポンジケーキと、まったり濃厚なチョコレートのハーモニーは一度食べたら忘れられません。お客さまを虜にしています。

このHEIDIに生まれ変わって登場した『アルハンブラ』は、素材も吟味、卓越した職人さんの思いがこもった自慢の逸品。「HEIDIの看板商品アルハンブラはそのまま食べてもよし、冷凍すればチョコアイスのような味わいと楽しみ方をご提案、お客さまに喜ばれています。



蘇ったアルハンブラが買える



チョコとスポンジの味が絶品のアルハンブラ

## 一個買っても大歓迎 ケーキを毎日の楽しみに

店内は入って正面の生洋菓子コーナーと、焼き菓子コーナーとに分かれます。洋菓子のケースの中には季節の素材を使ったケーキ類25アイテムが揃います。売れ筋は前述の『アルハンブラ』が一番ですが、他にも華やかなケーキに目を奪われます。取材時の人気の季節商品は苺ロール300円。クリーミーニューヨークチーズケーキ 378円、苺・ア・ラ・クレーム380円など。ケーキをたまに食べる特別なものではなく、毎日楽しんでいただきたいという思いから、リーズナブルな価格に設定。三世代のお客様

が安心して食べられるように、また何度食べても飽きないように、素材の味を大切に、シンプルにしていますと渡辺マネージャー。お客様の要望にお応えし、お客様と共に日々進化させたいとしています。



立地は地域の台所、関西スーパーの近くにあるため、気軽に立ち寄っていただける絶好の場所にあります。買い物帰りに1個買われるお客様も多く、この日も30代後半と思しき主婦が、苺ロール1個をうれしそうに持ち帰られた姿が印象的でした。ケーキ屋さんで一個買いはは勇気がいるもの。しかしここでは気軽に買えます。これもスタッフのフレンドリーなホスピタリティの賜物といえます。

### バラエティ豊かな焼き菓子も自慢

アーチの赤い壁が印象的な焼き菓子コーナーを覗いてみると、ディスプレイ棚にはすっきりと焼き菓子が並んでおり、その種類の多さに驚かされます。マドレーヌ、フィナンシェ、クッキー、チーズタルト、フロランタン、ガレットブルトンヌなど、焼き菓子の王道22アイテムがズラリと並びます。焼き菓子類は1個178円、クッキー類は284円とこちらもお手ごろ価格となっています。



赤いアーチの先に広がる焼き菓子コーナー



手張りのギフトボックス



プチギフトも充実

ホワイトデー直前とあって、ホワイトデー向けの商品が提案されていました。本格ギフト向けのボックスは職人の手張り。せっかくのギフトなので一回で捨てて欲しくないとの思いから、手張りにこだわったとのこと。また日常のプチギフトとして、2個、3個でも可愛いくラッピングしてくれます。そのちょっとしたアイデアがファンを呼び込んでいるのです。

通常、洋菓子店といえばカリスマシェフがブランドになることが多いのですが、ここ「HEIDI」では敢えて職人は前に出ず、ハイジの店そのものをブランドとしています。そして地元のお客様とともにお菓子の楽しさを共有し、育っていくことを考えています。西宮市は洋菓子店が多く、スイーツタウンを目指しており、「HEIDI」から半径500m圏内には8件の洋菓子店が建ち並ぶ、屈指のスイーツタウンとなっています。こうした店はライバルではなく、互いに競い合って共生していきたいと語っています。

あの『アルハンブラ』が買える店、ハイジの物語の店として、地域ナンバーワンを目指したい。そして将来は関西の名物として、「関西にきたらHEIDIでお土産を買って帰ろう」といっていただける店にしたいと渡辺マネージャー。ハイジの小さな夢がどこまで広がっていくのか、これからが楽しみです。